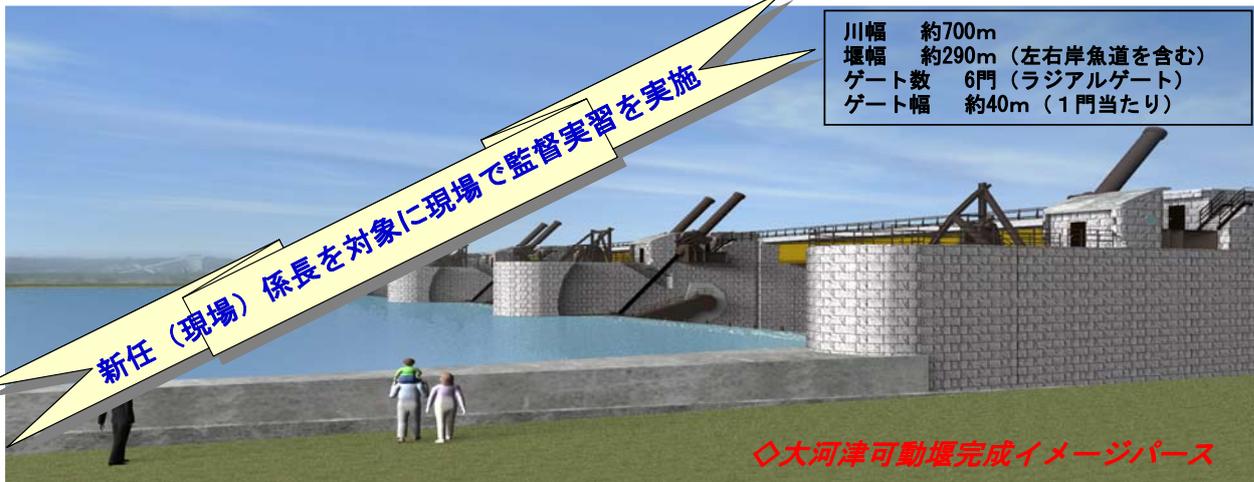


あんぜん北陸

第164号 2008.05.12

北陸地方整備局
企画部



本整備局では、新年度に**新任(現場)係長**を対象に、研修を実施しています。
研修内容は、工事監督のありかた、施工管理の把握、河川・道路事業の現状と課題等、監督を努めるために必要な技術の向上を図ることを目的に実施しています。
今年度は、現場での監督実習として、管内で施工中の「**大河津可動堰の改修工事**」を研修場所とし、①**施工の実施状況** ②**出来形管理状況** ③**品質管理体制** ④**安全管理全般** の観点から実務を経験し、後日、各班毎に取りまとめ、各班の代表者が発表を行い、全員で検討協議を実施しました。

この監督実習を経験し、今後の監督業務に役立てて下さい。

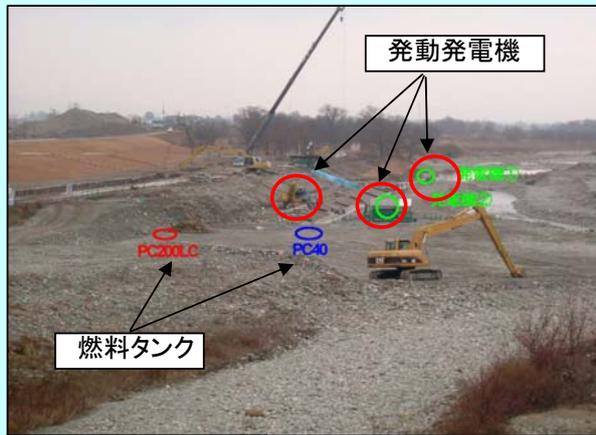
<現場情報コーナー>

請負業者の皆さんこんな経験はありませんか。



“請負業者の皆さん
こんな経験はありませんか・・・”
(突然の大雨による建設資材等の流失)

近年、梅雨の季節や台風の季節になると、一定の地域だけに集中的に大雨が降り、上流に設置されたダムからの放流や河川の増水により、現場内に置いていた建設資材や建設機器等が流失した経験はありませんか・・・？



①前日の施工状況



②大雨による翌日の状



オイルマットによる油回収状況



燃料タンクの回収状況



発電機の回収状況

③大雨による流失状況

6月下旬頃から、北陸地域でも梅雨の時期に入ります。
気象情報を確認し、再度、現場点検等を行って下さい。

平成18年度の建設副産物実態調査の結果がまとまる！

建設副産物実態調査とは、建設副産物対策の具体的な政策立案やその評価を行うことを目的とし、建設副産物の排出量や再資源化等の動向を調査するものであり、**5年に1回の「全国調査」と、毎年実施している「簡易調査」**があります。

当該調査の実施に関しては、「建設リサイクル推進計画2002」に位置づけられています。

今回は、「簡易調査結果」がまとまりましたので紹介します。

調査の内容

北陸地方（新潟県、富山県、石川県）において、平成18年度に竣工した建設工事を対象に建設副産物の発生状態及び再生資源の利用促進状況等を調査した。

なお、今回の調査は簡易センサスとなるため建設工事のうち公共工事についてデータを回収し、単純集計により分析した。

発注機関別回収工事件数

国	729
公団・事業団	29
県	2,633
その他市町村	2,038
公共土木	5,429
公共建築	121
合計	5,550

平成18年度建設副産物実態調査の結果について

建設リサイクル推進計画2002（北陸地方版）のフォローアップ

北陸地方全体における建設リサイクル推進計画2002（北陸地方版）の目標値に対する進捗状況は、次のとおりである。

表-1 建設リサイクル推進計画2002の進捗状況（北陸地方全体）

	平成18年度 実態調査	平成17年度 目標値		《参考》平成22年度 目標値	
		達成	達成率	達成	達成率
建設廃棄物の 再資源化等率	98.0%	達成	88.0%	達成	91%
アスファルト ・コンクリート塊	99.2%	達成	99%以上	達成	99%以上
コンクリート塊	98.9%	達成	98%以上	達成	98%以上
建設発生木材 (再資源化等率)	89.9%	未達成	90.0%	未達成	95%
建設発生木材 (再資源化率)	64.9%	達成	60.0%	未達成	65%
建設汚泥	92.3%	達成	60.0%	達成	65%
建設混合廃棄物	排出量は算定 していない		平成12年度排出量 に対して25%削減		平成12年度排出量 に対して50%削減
建設発生土利用率	65.6%	未達成	75.0%	未達成	90%

北陸地方における建設リサイクル推進計画2002（北陸地方版）の目標値に対する県別の進捗状況は、次のとおりである。

表-2 建設リサイクル推進計画2002の進捗状況（北陸地方・県別）

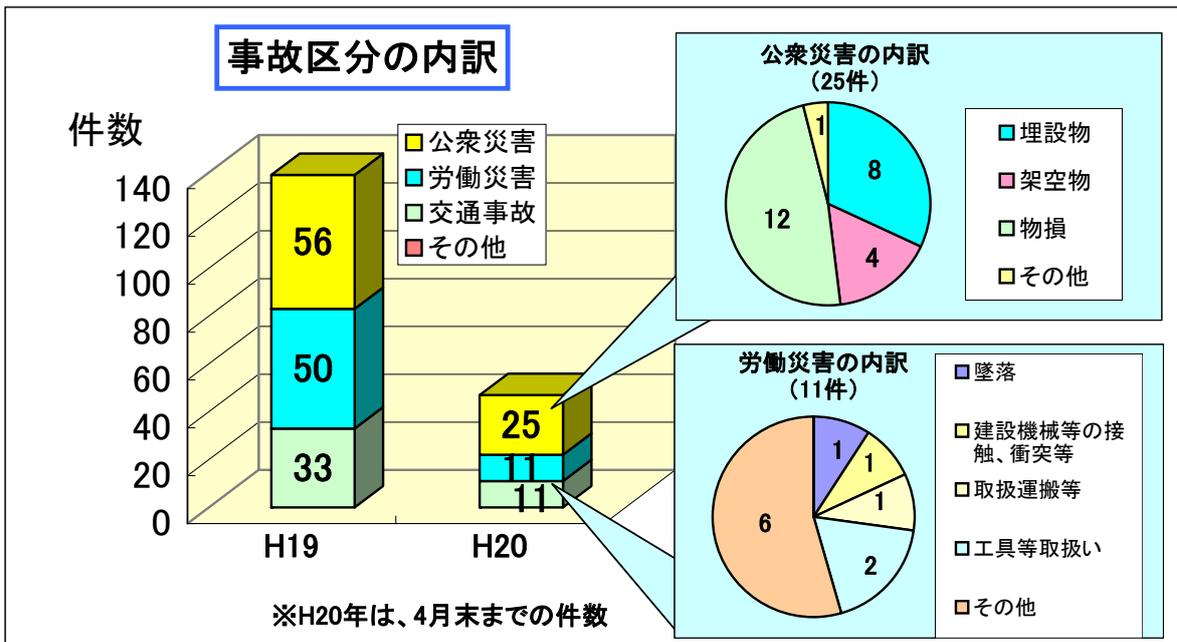
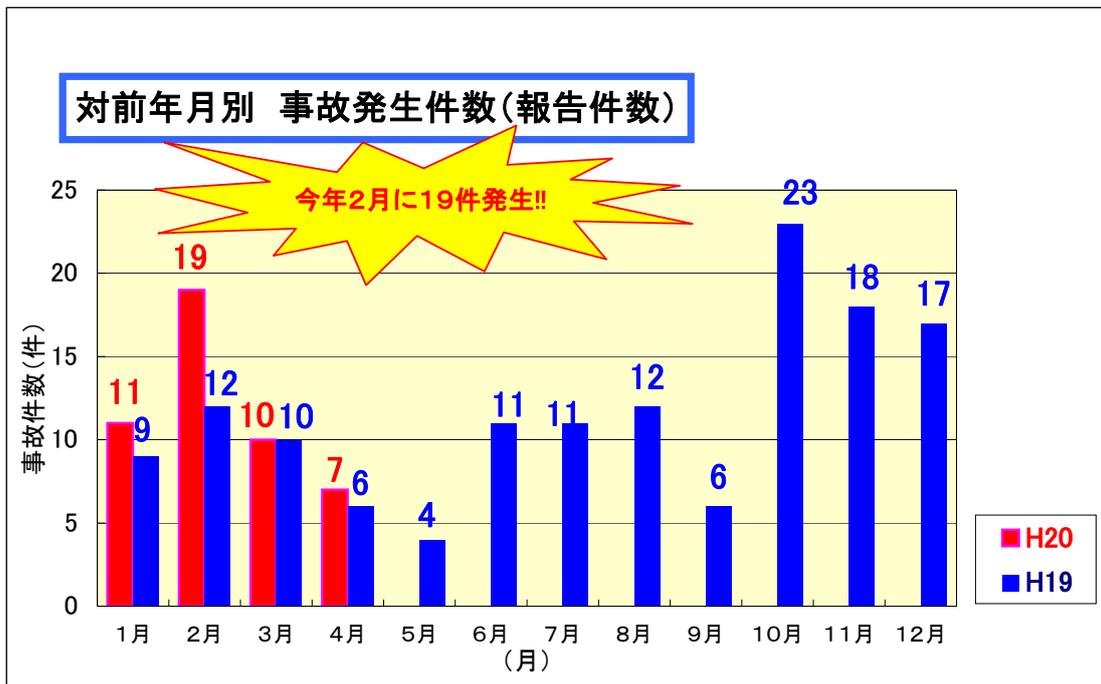
	平成18年度実績				目標(推進計画2002)	
	新潟県	富山県	石川県	北陸地方	平成17年度	《参考》 平成22年度
建設廃棄物の 再資源化等率	98.2%	97.7%	97.4%	98.0%	88%	91%
アスファルト ・コンクリート塊	99.2%	99.7%	99.0%	99.2%	99%以上	99%以上
コンクリート塊	98.6%	99.7%	98.9%	98.9%	98%以上	98%以上
建設発生木材 (再資源化等率)	92.0%	91.3%	84.1%	89.9%	90%	95%
建設発生木材 (再資源化率)	64.3%	78.8%	60.8%	64.9%	60%	65%
建設汚泥	95.3%	81.9%	83.8%	92.3%	60%	65%
建設混合廃棄物	平成18年度簡易センサスは、単純集計のため排出量を算定していない。				平成12年度排出量 に対して25%削減	平成12年度排出量 に対して50%削減
建設発生土利用率	60.4%	83.9%	72.9%	65.6%	75%	90%

事故速報

事故事例を参考に、作業手順書の見直しや、危険予知活動に活かして下さい。

4月は昨年より1件多く発生 合計で7件発生！！
労働災害 3件 公衆災害 2件 交通事故 2件

**今一度、講習会や現場点検を実施し、
 労働災害・公衆災害の防止に努めて下さい。**



(その1)

発生日時	平成20年 4月 3日(木) 12時40分
工事の種類	道路車両管理業務
事故の状況	交差点において、一時停止していた相手方車両が、急に交差点に進入してきたので、相手方の車両を避けようとしたが衝突した。

(その2)

発生日時	平成20年 4月 3日(木) 15時45分
工事の種類	道路地盤改良工事 <公衆災害>
事故の状況	排水柵の法面整形の施工にあたり、バックホウを移動中にアームでNTTの架空線を切断した。

(その3)

発生日時	平成20年 4月 9日(水) 11時45分
工事の種類	道路品質管理業務 <労働災害>
事故の状況	書類を見ながら通路(机と壁の間)を歩いていたところ、壁に設置していた空気清浄機に頭をぶつけ負傷した。

(その4)

発生日時	平成20年 4月14日(月) 14時00分
工事の種類	営繕耐震改修工事 <公衆災害>
事故の状況	ガス管・給水管理設配管掘削施工において、既存雑給水管をバックホウにて破損し漏水させた。

(その5)

発生日時	平成20年 4月21日(月) 9時00分
工事の種類	道路橋梁下部工事 <労働災害>
事故の状況	連接ブロックを吊り込むため、立った状態のブロックを倒す作業中、自分の左足に倒して負傷した。

(その6)

発生日時	平成20年 4月23日(水) 10時25分
工事の種類	道路橋梁床版工事 <労働災害>
事故の状況	中段足場を移動中、吊りチェーンをまたぐ直前に、足を滑らせて足場板と板の間に足がはまった。

(その7)

発生日時	平成20年 4月30日(水) 15時45分
工事の種類	道路改良工事
事故の状況	ダンプトラックが現道を走行中、対向して来た乗用車が反対車線をはみ出して走行して来たため、路肩で待機していたが、避けきれずに衝突した。

休業4日以上の事故は、 建設工事事務データベースへの登録を忘れずに！

- ・建設工事事務データベースへの登録（入力）がされていない事例が見受けられます。
- ・請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録（入力）して下さい。
- ・建設工事事務データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、休業4日以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用してデータベースに入力するものです。
- ・管理業務はSASセンターが行っています。
- ・登録（入力）は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>

※詳しくは、「土木工事現場必携」88ページをご覧ください

お知らせ

今年度も発注者支援の一環として、6月から「直轄工事への臨場立会研修」を実施する予定です。実施予定については、以下のアドレスに5月下旬頃掲載いたしますので、県・市町村職員の方の多数のご参加をお待ちしております。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/hinkaku/html/tatai-top.html>

【参考】H19年度直轄工事への臨場立会研修 実施結果



実施期間
平成19年6月～11月、
平成20年1月～2月 計8ヶ月間
実施回数
28回

研修に参加された方のアンケート結果
 ・直轄工事の検査方法が理解できた。
 ・臨場立会以外に、県・市町村職員を対象とした検査の講習会を開催して頂きたい。
 ・質疑の時間をとって頂き、大変参考になりました。

参加 30機関 延べ67名
 県：新潟県、富山県、石川県 計3県
 市町村：新潟市、新発田市、十日町市、朝日村、富山市、射水市、南砺市、立山町、金沢市、加賀市 計10市町村

(参加者役職)
 県：工事検査員等
 市町村：検査室長、検査員等

